

Harmony among People,  
Technology, and Environment.

株主の皆様へ

## 第82期 営業のご報告

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

### CONTENTS

---

株主の皆様へ	1
連結財務ハイライト	2
連結財務諸表	3
単体財務諸表	4
事業別の概況	5
トピックス	8
会社情報	9

---



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097

## 株主の皆様へ



取締役社長

竹内弘幸

平素は格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループ第82期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動などがあったものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和等による効果もあって、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは主力事業の一層の拡大強化に努めるとともに、安定的な収益力確保に向けてグループ一体となった積極的な営業活動に取り組んでまいりました結果、当連結会計年度の売上高は779億98百万円(前期比0.4%増加)となりました。

収益面におきましては、経営全般にわたって徹底した経費削減やコストダウンなど、より一層の合理化に努めましたが、製造及び販売コストの上昇などにより、営業利益は41億6百万円(前期比12.2%減少)、経常利益は47億62百万円(前期比8.3%減少)、当期純利益は28億10百万円(前期比5.5%減少)となりました。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき7円とさせていただきます。

平成26年12月10日に1株につき7円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計14円となります。

今後のわが国経済は、個人消費や設備投資などによる国内需要の増加に期待がよせられますが、為替相場の急変や海外経済の下振れ懸念もあり、不透明な状況で推移するものと思われま。

当社グループといたしましては、引き続きガス事業部門・化成事業部門を柱として、安全確保と環境保全のための更なる教育の徹底ならびに既存設備の更新及び整備、製造及び営業体制の見直し、各部門にわたる費用の節減など、全般的な経営の効率化を推進することに全力を傾注するとともに、企業体質の健全性に留意して、事業規模の拡大をはかり社業の発展に努めてまいり所存でございます。

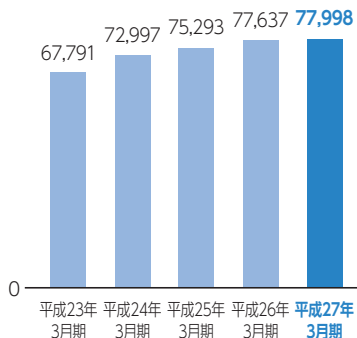
株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成27年6月

# 連結財務ハイライト

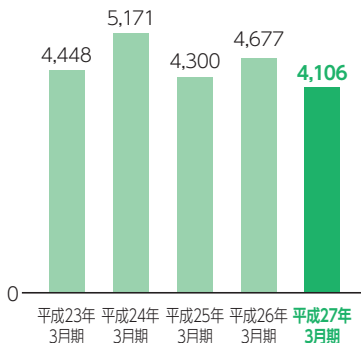
## 売上高 (単位:百万円)

平成27年  
3月期 **779億98**百万円



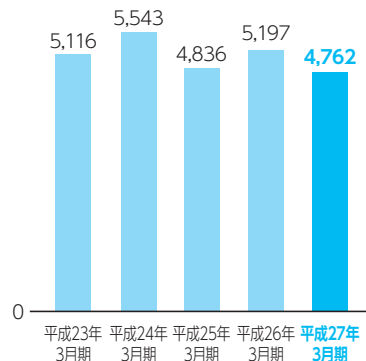
## 営業利益 (単位:百万円)

平成27年  
3月期 **41億6**百万円



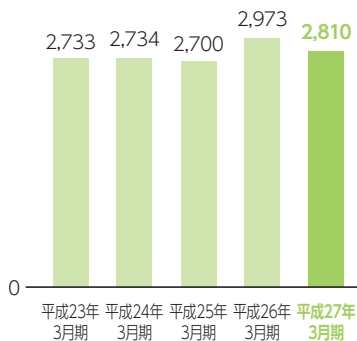
## 経常利益 (単位:百万円)

平成27年  
3月期 **47億62**百万円



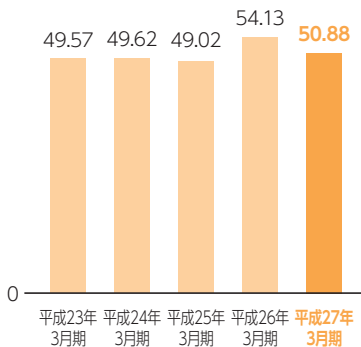
## 当期純利益 (単位:百万円)

平成27年  
3月期 **28億10**百万円



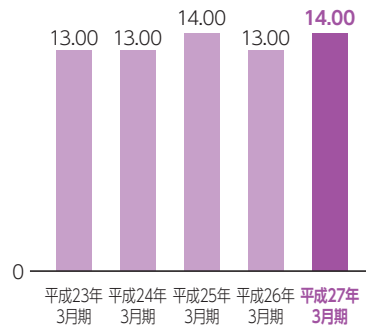
## 1株当たり当期純利益 (単位:円)

平成27年  
3月期 **50.88**円



## 1株当たり配当金 (単位:円)

平成27年  
3月期 **14.00**円



## 連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

	第81期末 (平成26年3月31日)	第82期末 (平成27年3月31日)	増減額
流動資産	42,382	43,311	928
固定資産	29,753	33,886	4,132
流動負債	24,434	24,063	△ 370
固定負債	4,827	5,600	772
純資産	42,874	47,533	4,659
総資産	72,136	77,197	5,061

## 連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	第81期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	第82期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	増減額
売上高	77,637	77,998	360
営業利益	4,677	4,106	△ 571
経常利益	5,197	4,762	△ 434
当期純利益	2,973	2,810	△ 163
1株当たり当期純利益	54円13銭	50円88銭	△ 3円25銭

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	第81期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	第82期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,939	5,278	2,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,130	△ 3,193	△ 1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,780	△ 868	911
現金及び現金同等物の期末残高	13,483	14,797	1,314

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 単体貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

	第81期末 (平成26年3月31日)	第82期末 (平成27年3月31日)	増減額
流動資産	35,458	36,122	664
固定資産	27,200	29,937	2,737
流動負債	20,098	19,810	△288
固定負債	3,484	4,099	615
純資産	39,074	42,149	3,074
総資産	62,658	66,059	3,401

## 単体損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	第81期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	第82期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	増減額
売上高	63,365	63,093	△272
営業利益	3,193	2,738	△454
経常利益	3,915	3,580	△335
当期純利益	2,425	2,158	△266
1株当たり当期純利益	44円14銭	39円08銭	△5円06銭

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 期末配当

期末配当金 1株につき7円 総額386,540,777円

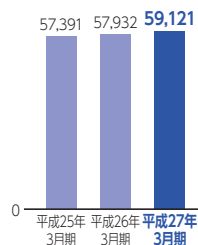
支払開始日 平成27年6月29日

## ガス事業

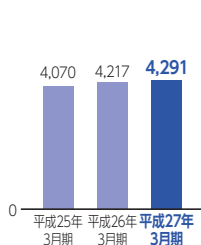
### 人と暮らしの未来に貢献



売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



#### 営業の概況

ガス事業は、新規需要先の獲得や建設、橋梁、鉄鋼、電機、化学、半導体向けに需要が回復したことにより売上げを伸ばしました。また、溶接溶断関連機器も設備投資や工事需要の回復に伴い売上げを伸ばしました。



溶解アセチレン



セパレートガス

#### 主要製品

##### 工業・医療用ガス

アセチレン L P G  
酸素 液化天然ガス  
窒素 水素  
アルゴン ヘリウム  
炭酸

##### 溶接・混合標準ガス

レーザーガス  
ハイアセガス  
各種混合ガス

##### 容器

シームレス容器  
溶接容器

##### 器具・器材

乾式安全器  
ガス圧力調整器  
防災工具

#### 事業の紹介

##### ガス

産業分野から生活関連、医療分野まで、各々の特質を生かして多彩なガスが先進技術に生かされています。工業用ガスのエキスパートとして、さらに高度化・多様化するニーズに対応すべく、生産技術と品質の向上に努めています。

##### 容器

ガスの保存性と用途を高める各種容器の開発も、当社の大きな使命です。アセチレン容器をはじめ、ガスの特質と利用状況に適した耐久性の高い製品を提供しています。

アセチレン容器…容器内部に多孔質物(マス)を固く詰めた軽量固型マス容器は、当社が独自に開発した製品であり、その安全性・信頼性が高く評価されています。

##### 器具・器材

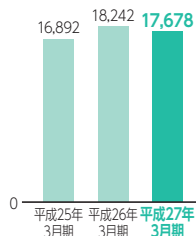
ガスを安全にご利用いただくために、各種安全器具及びガス供給システム等を開発し、各産業分野に提供しています。

## 化成品事業

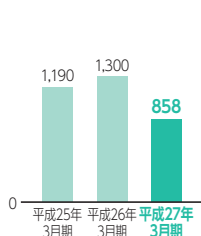
## 接着剤・塗料の可能性を多彩に追求



売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



## 営業の概況

接着剤は建材向けが減少しましたが、新製品の開発や市場開拓により売上げは前期並みとなりました。

塗料は遮熱塗料、エアゾール製品が増加したものの、天候不順による工事減少に伴い建築用塗料が減少したことにより売上げは前期を下回りました。



シアノン



クールトップ

## 主要製品

## 接着剤

ペガール  
シアノン  
ペガロック  
サウンドプルーフ

## 塗料

水性シリコンユニ  
水性セラフレックスシリーズ  
ワイドエポーレ  
クールトップ  
シャオンクール  
HPトップ

## 事業の紹介

## 接着剤

水性タイプの樹脂「ペガール」を中心に瞬間接着剤「シアノン」、2液アクリル接着剤「ペガロック」を製造、販売しています。

ペガールは紙、木材の接着をはじめ、粘着剤、塗料用、インク用バインダー、モルタル混和剤などに、シアノン・ペガロックはスピーカー、プリンターをはじめとする弱電用、自動車内装用、太陽光パネル用などに使用されており、接着剤ニーズは工業用から家庭用まで多様な広がりを見せています。

当社製品の歯科技工用「デンタルシアノン」、人工大理石高級流し台用「ペガロック」は日本で高いシェアを誇っています。

また、振動・防音対策用として、制振材「サウンドプルーフ」を開発するなど、さまざまな用途に適合した優れたアイテムを開発し、地球環境を見据えた製品を提供しています。

## 塗料

水性塗料を中心に、建築用塗料、工業用塗料を提供しています。

外壁用塗料「水性シリコンユニ」を主力に、超低汚染塗料「水性セラフレックス」、高耐候性屋根用塗料「ワイドエポーレ」、遮熱塗料「クールトップ」、塗布型制振防音材「シャオンクール」、防水層保護塗料「HPトップ」など、お客様のニーズに即した製品を開発・提供し、市場で高い評価を受けています。

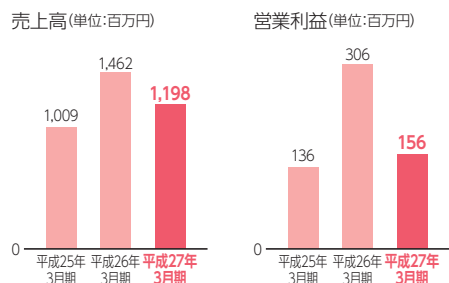
## その他事業

### 情報・通信の未来形を産業の最前線に発信



#### 営業の概況

鉄道及びバス事業向けのLSIカードの需要が増加したものの、海外向けの光学機器の需要が大幅に減少したことにより売上は前期を下回りました。



LSIカード



RFタグ  
(容器管理システム用)

#### 主要製品

LSIカード  
RFID  
衛星測位システム

#### 事業の紹介

##### LSIカード

LSIカードは、世界で最初に実用化された無接点方式のメモリカードです。無接点の利点である端子がないことで、電気的ショートが無く、厳しい環境下でも使用に耐えうることから、従来の接点付ICカードでは不可能とされていた分野においても利用されています。鉄道の乗務員支援システムやバスの料金管理システムなどにも使用され、建築・土木・交通・輸送・生産装置など応用範囲は広く、国内のみならず海外の産業でも利用されています。

##### RFID (RFタグ)

RFIDとは、電波を使って物品や人物を識別するための技術です。バーコードと比べて耐環境性に優れ、一定範囲内のRFタグの一括読み込みが可能であり、物流(商品/パレットの履歴管理)、販売(在庫管理や検品・棚卸)、製造(品質管理、生産管理)、セキュリティ(入退室管理、危険物管理)などあらゆる分野での業務の効率化をはかることができます。ガス業界においても、当社が開発した高圧ガス容器に適したRFタグが使用されており、容器の保安管理に貢献しています。





## 「高圧ガス工業ベトナム」工場稼働

平成26年12月に当社初の海外拠点として設立した「高圧ガス工業ベトナム」が、ドンナイ省のロンドゥック工業団地内に建設を進めておりましたペガールの製造工場が完成し、5月に本格稼働しました。

現地家具メーカーを主要なターゲットとし、木工用、紙工用ほか住宅設備資材関係へも販売していく予定です。

ベトナムをはじめ、ASEAN諸国は有望な事業展開先として期待が高まっており、種々の産業において日系企業のみならず各国の企業が進出しております。このような環境のなか、当社といたしましては、「高圧ガス工業ベトナム」をASEAN全体の拠点として位置付け、生産品目の拡大を視野に入れながら、総合接着剤メーカーを目指し事業の拡大に努めてまいります。



## 会社概要 (平成27年3月31日現在)

商号	高圧ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	784名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570 (代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03 (3595) 3128 (代表)
営業所	14カ所
出張所	11カ所
工場	16カ所 (ガス事業) 3カ所 (化成品事業)

当社Webサイトで各種情報を公開しております。

<http://www.koatsugas.co.jp/>



## 役員 (平成27年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役社長	竹内 弘幸		
代表取締役専務	澁谷 信雄		
常務取締役	説田 和洋		
	黒木 幹也		
取締役	谷屋 五郎	杉岡 孝雄	
	松井 良祐	福井 正郎	
	森本 孝	吉高 紳介*	
	森田 和博	笹野 哲郎*	

\*社外取締役

### 監査役

常勤監査役	長岡 史明		
	狩野 仁*		
監査役	川端 世輝*		
	山崎 勇*		

\*社外監査役

### 執行役員

執行役員	名越 一晶	荒木 淳支	
	大北 隆行	片岡 一夫	
	杉前 寿雄	平田 恭清	
	廣瀬 俊明	玉野 光樹	
	中谷 光敏	竹村 忠	
	安田 英司		

### 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式総数 55,577,526株

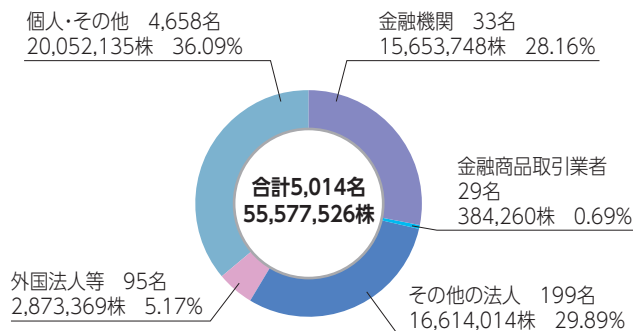
株主数 5,014名 (前期末比269名減少)

## 大株主 (平成27年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
電気化学工業株式会社	6,906	12.51
こうあつ共栄会	6,173	11.18
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
大陽日酸株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,717	4.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,471	4.48
高圧ガス社員持株会	1,758	3.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,433	2.60
北陸工業瓦斯株式会社	886	1.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	847	1.53

(注) 持株比率は、自己株式(357,415株)を控除して算出しています。

## 所有者別株式分布状況 (平成27年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度末日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会基準日 毎年3月31日

剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

上場証券取引所 東京市場第1部

1単元の株式の数 1,000株

株主名簿管理人 〒100-0005  
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502  
大阪府中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/> から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL

<http://www.koatsugas.co.jp/>



## 高压ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)  
電話 06(7711)2570(代表)  
<http://www.koatsugas.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。